令和８年１１月１３日

応　募　者　　各位

熊本大学 発生医学研究所長
塩田　倫史
（公印省略）

熊本大学発生医学研究所（学術院生命科学域先端生命科学系）教授候補者又は准教授（独立准教授）候補者の公募（女性限定公募）について

熊本大学発生医学研究所（学術院生命科学域先端生命科学系）では、教授候補者又は准教授（*1 独立准教授）候補者の公募を行います。

とくに、①細胞・器官・個体レベルでの生命現象の制御メカニズム、②器官・臓器の発生・成熟と再建、③発生・成熟異常に起因する疾患の病態制御、④生命現象の定量化と数理モデル化、⑤生命現象と工学分野との融合研究、について独創的な研究を展開し、発生医学研究所教員等との共同研究や研究交流を積極的に進めることのできる方の応募を歓迎いたします。

*1 発生医学研究所の「独立准教授」とは、独立した研究室を主宰し、業績評価・審査により教授に昇任することができる准教授をいいます（令和２年度に１名、令和４年度に２名の独立准教授が教授へ昇任しています）。

本公募においては、教授又は准教授（独立准教授）のいずれか又は両方に応募することができます。選考委員会において考慮いたしますので、「教授」、「准教授（独立准教授）」のうち選考を希望する職名について、提出書類の「研究・教育に対する抱負」【別記様式５】に明記願います。

発生医学研究所は、発生学的視点による生命科学領域における国際水準の研究活動と人材育成を行うことを使命としております。文部科学大臣認定の「発生医学の共同研究拠点」として研究者コミュニティの共同研究を推進するとともに、平成２４年には臓器再建研究センターを設置し、臨床への橋渡し研究の実現を視野に入れています。さらに、令和４年には「高深度オミクス研究センター」を設置し、単一細胞レベルでの高深度解析を行う体制を整備しました。

若手独立研究者の立ち上げを強力にサポートする研究環境

リエゾンラボ研究推進施設を設置し、３名の博士号取得者を含めた専属の技術専門職員による支援体制のもと、最新の共通機器の管理・運営とその解析支援など、着任後すぐに高度の研究を推進することのできる環境を備えています（http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/lila/）。

隣接する生命資源研究・支援センターでは、遺伝子改変マウスなどを用いた動物実験・技術支援システムを完備しています（http://irda.kuma-u.jp/divisions/index.html）。

本公募では、このような発生医学研究所の研究環境を最大限に活用して、医学・生命科学における先端的な研究を推進する研究者を対象として、研究室を主宰する新進気鋭の教授又は准教授（独立准教授）を求めています。

（注）本学では、令和９年４月１日から新たな教員人事制度及び教員組織体制に移行いたします。

女性研究者の活躍をサポートする環境

熊本大学は男女共同参画を推進しています。また、発生医学研究所では独自の男女共同参画推進事業を行っています。本選考にあたっては、女性研究者の積極的な応募を歓迎し、女性限定で採用します。

http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/danjo/

※本研究所の概略につきましては、熊本大学発生医学研究所ホームページをご参照ください。

http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/

記

１．募集職名及び人員　　教授又は准教授（独立准教授）　１名

２．所属　　熊本大学学術院生命科学域先端生命科学系

３．配属　　熊本大学発生医学研究所

４．採用時期　　令和９年６月１日以降のできるだけ早い時期（ご相談に応じます。）

５．応募条件

博士の学位（海外において授与された、これに相当する学位を含む）を有する者

６．応募期限　　令和８年１２月２８日（月）　１７：００必着

７．労働条件等

職務内容　：（雇入れ直後）教授又は准教授（独立准教授）としての業務に従事する
（変更の範囲）熊本大学の定める業務

勤務形態　：同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は職員の裁量に委ねるものとし、１日の勤務時間は７時間４５分とみなす。

任期の定め：あり
教授：採用後５年（再任１回。審査により任期の定めのないテニュア転換が可能です。）
准教授（独立准教授）：採用後５年（再任１回。着任後１０年以内に、審査により教授への昇任が可能です。）

＜参考：国立大学法人熊本大学職員の任期に関する規則＞
http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000060.htm

試用期間　：６カ月
勤務場所　：（雇入れ直後）熊本大学本荘中地区
（変更の範囲）熊本大学の定める範囲
時間外労働：時間外、深夜、休日労働の有無　有
賃金等　　：国立大学法人熊本大学２号年俸制適用職員給与規則の定めるところによる
社会保険　：文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
雇用者　　：国立大学法人熊本大学

８．採用後の対応

教授、准教授（独立准教授）ともに、教育においては、大学院（医学教育部、薬学教育部または自然科学教育部）における関連科目の講義と大学院生の研究指導等をご担当いただく予定です。また、着任時には専用の研究活動用スペース及びセットアップ経費を受けるほか、職位に応じて次のようにスタッフの採用が可能です。

（１）教授：審査の上で教員（准教授又は助教）１名の採用、ポスドク１名の２年間優先配置。
研究業績がとくに優れる場合、教員（助教）１名の増員が可能です。

（２）准教授（独立准教授）：審査の上で教員（助教）１名の採用が可能です。

９．提出書類

（１）推薦書（推薦者１名）

（２）推薦者の連絡先（推薦者の氏名、所属、職名、連絡先（電話番号、メールアドレス））

（３）履歴書【別記様式１】

メールアドレス及び連絡先をご記入ください。

出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、備考欄に付記してください。

（４）業績目録【別記様式２】

（５）主要研究論文目録（総説を含む）【別記様式３】

（６）研究・教育に関する業績の概要【別記様式４】

（７）研究・教育に対する抱負【別記様式５】

（８）研究計画書【別記様式６】

（９）主要論文５編以内の別刷

（５）主要研究論文目録に記載した主要論文５編以内の別刷を添付してください

※（３）～（８）の様式は、以下のホームページからダウンロードできます。

・熊本大学ホームページ〔採用情報〕　https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/index

・熊本大学発生医学研究所ホームページ〔求人案内〕　http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/job/

10. 書類提出方法　　メール送付

・　応募者は「８．提出書類」に記載の提出書類（２）～（８）の電子媒体（PDF）を送付してください。その際、(2)～(8) は単一の PDF ファイルにまとめ、(9) は論文ごとに１つの PDF ファイルとしてください。ファイル名はすべてアルファベット表記の氏名を含めてください。

・　例：(２)～(８): Taro_Kumadai_CV.pdf; (９): Taro_Kumadai_1.pdf, Taro_Kumadai_2.pdf, Taro_Kumadai_3.pdf, Taro_Kumadai_4.pdf, Taro_Kumadai_5.pdf

・　（１）推薦書は、推薦者から書類提出先へ直接メールにて提出してください。

・メールの件名は、「発生医学研究所教員公募関係書類の提出」としてください。

・送付容量上限は 20MB までとなっていますので、ご注意ください。ファイルサイズの合計が 20MB を超える場合は、事前にメールにてお知らせください。提出用の URL をお送りします。

・提出書類を受領後、本件事務担当者から必ず受信確認のメールを返信しますので、３営業日以内に返信がない場合はお手数ですが下記「10. 書類提出先・問合せ先」に記載の電話番号にご連絡ください。

11. 書類提出先・問合せ先

〒８６０－０８１１ 熊本市中央区本荘２丁目２番１号

国立大学法人熊本大学 生命科学系事務部 生命科学先端研究事務課 センター事務チーム

TEL：０９６－３７３－６６３７　E-mail：iys-senter-2@jimu.kumamoto-u.ac.jp

12. 本件担当　発生医学研究所 教授又は准教授（独立准教授）選考委員会：塩田　倫史

13. その他

＊選考にあたり、候補者各位にはセミナー並びに面談をお願いすることがあります。（オンラインで実施する場合もあります。）

＊提出書類に記載された個人情報は、国立大学法人熊本大学の定めに従い、当該選考及び採用以外には使用しません。

＊本公募は、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を行うものです。

＊女性限定公募期間において、応募がない場合又は選考の結果、候補者なしとなった場合は、一般公募に切り替えます。

＊熊本大学は、ダイバーシティを推進しています。また、女性研究者の活躍促進のため、パートナーとの「一緒に雇用制度」や熊本出身の方への「帰って雇用制度」を設け、採用時に研究活動のスタートアップ支援を行っております。詳細は、ダイバーシティ推進室へお尋ねください。
https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/
＊業績の評価に際しては、以下に示す方法で育児休業、介護休業及び産前産後休暇（以下、「育児休業等」という。）を取得した期間（複数ある場合には合算）を考慮します。
・最近 5 年間並びに研究従事年数の業績を評価する際に、当該評価期間における育児休業等を取得した期間に相当する年数を評価期間に加える。
・研究従事年数を算出し、評価する際に、当該評価期間における育児休業等を取得した期間に相当する年数を研究従事年数から除く。
＊熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜教授の場合＞1,000 万円、＜准教授の場合＞800 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。
https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct